

～学びと育ちの連続性～

浦幌小中一貫CS便り

平成 27 年 1 月 29 日 (N0.47)

浦幌町教育委員会
浦幌町教育研究所



コミスク研修会

「学校と地域の連携・協働研修」

■1月29日(木)、浦幌町中央公民館において、新潟市から「みらいず works」代表のファシリテーター小見まいこ氏をお招きして、学校と地域の協働による可能性やアクションプランについて研修を深めました。

参加された 65 名(他に事務局 10 名)の PTA、教職員、教育関係者の皆さんは、小見氏の巧みな進行により、育てたい浦幌の子ども像や協働による取組の可能性について熱気溢れる熟議を深め、4 月からの全面実施に大きな弾みがつきました。



(I) ビジョンアンケート

地域と学校の協働による可能性や目指す子ども像などを話し合いました。12 名の抽出者が代表して、次のような子ども像を発表しました。

- ① 自ら行動できる子
- ② 自分の力を発揮できる子
- ③ 目標に向かって努力する子
- ④ 他町村や外国に行って視野を広げる子
- ⑤ 素直で人を大切にする子、感性豊かな子
- ⑥ 何事にも積極的に挑戦する子
- ⑦ 最後まで諦めないでやりぬく子
- ⑧ 自分自身を開放できる子
- ⑨ ふるさとに誇りを持てる子
- ⑩ 将来に夢をもって努力する子
- ⑪ 世界につながる人の和を重んじる子
- ⑫ 自分で働き、税金を納める人になる子

(II) 共に取り組めるアイデア

学校と地域の協働によるアクションプランを 5 人グループで話し合い、次の提案がありました。

- ① 学校と地域、「頼る・頼られる」関係作り
- ② 意識改革、悩みの共有
- ③ 学校と保護者の垣根を取り払う
サポート隊の結成、地域人材の活用
- ④ 地域のティーチャー登録制、イベント作り
- ⑤ 地域人材の発掘・紹介
- ⑥ 「ようこそ先輩」、部活動のサポート
- ⑦ 地域の人たちと一緒に「朝のあいさつ運動」
- ⑧ 地域・保護者・学校の行事をみんなでやる
- ⑨ 遠慮せずに学校支援を依頼できる信頼関係
- ⑩ 浦幌の魅力を伝える、みんなで手をつなぐ
- ⑪ ふるさとのよさの体験
「地域のおじさん・おばさん再発見」
- ⑫ 「リレー民泊」 他

(コミスク研修会を終えて) グループ討議の内容が、小見氏によってファシリテーショングラフィックで模造紙にまとめられ、目指すべき方向性や取組として示されました。

CS 実施の礎となる貴重なアクションプランの提案をいただきましたことに感謝申し上げますとともに、研修会を企画運営されました関係者に厚くお礼を申し上げます。